



第6章 地域連携研究と研究成果の発信

村井, 良介 ; 坂江, 渉 ; 吉川, 圭太 ; 前田, 結城 ; 古市, 晃 ; 井上, 舞 ;
木村, 修二 ; 市澤, 哲

(Citation)

歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業, 14(平成27年度事業報告書):55-57

(Issue Date)

2016-03-22

(Resource Type)

report part

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81009354>



第6章

地域連携研究と研究成果の発信

地域連携センター年報『LINK【地域・大学・文化】』の刊行

2015年12月28日付で第7号を発行した。特集「“地域の再生”と歴史文化—自治体消滅論・地方創生と市民社会—」を編んだほか、論考1本、史料紹介1本、時評・書評・展示評を3本、フィールドリポートを3本、LINKを読むを1本などを掲載した。

また特集企画のために、2015年6月12日(金)、神戸大学文学部学生ホールにおいて研究会をおこなった。編集委員会から村井良介委員と市沢哲委員が話題提供的な報告をおこない、岡田知弘氏(京都大学大学院経済学研究科教授)、森元純一氏(和気町教育委員会社会教育課係長)、今井邦彦氏(朝日新聞社編集委員)からそれぞれコメントをいただいた。これらを受けて、河島真氏(神戸大学大学院人文学研究科准教授)の司会で座談会形式の討論をおこなった。

第7号の記事は以下のとおりである。

特集 “地域の再生”と歴史文化—自治体消滅論・地方創生と市民社会—

編集委員会 特集にあたって

[報告]

村井良介 地域の多元性とコミュニティ、市民社会—歴史研究の視点から—

市沢哲 「かつてないほどに哲学的な問いに直面する時代」のなかで

[コメント]

岡田知弘・森元純一・今井邦彦

論考

前田結城 幕末明石藩の政治動向の基礎的考察
史料紹介

前田結城 明石市立文化博物館所蔵黒田家文書
「慶応三卯年 日記」

フィールドリポート

村野正景 学校所蔵資料の調査と活用について
—京都文化博物館の取り組み—

前田徹 兵庫県立歴史博物館特別企画展「阪神・淡路大震災二十年 災害と歴史遺産—被災文化財レスキュー活動等の二十年—」

釜須朱美 明石藩関連資料による「明石藩の世界」展—越前松平家・黒田家資料を中心に—

『LINK』を読む

菊地真 市民知と地理学の公共性

時評・書評・展示評

藤本清二郎 兵庫歴博特展「災害と歴史遺産」
をめぐって—災害時レスキューと歴史資料保存、および個人史資料—

前田正明 災害と歴史系博物館の展示をめぐって

守口喜美佳 地域史惣寄合参加記

活動報告

佐々木和子 『阪神・淡路大震災資料集1 住吉の記憶「住中と水」』の刊行

津熊友輔 「記憶から歴史へ—阪神・淡路大震災を知らない世代の取り組み—」の展示の概要及び展示作成に関わった感想

水本有香 被災地図書館との震災資料の収集・公開に係る情報交換会

木村修二 人文学研究科古文書室架蔵文書群の紹介(四)

吉川圭太 人文学研究科古文書室収蔵文書一覧(2014年度購入分)

(文責・村井良介)

2015年5月23日に、宍粟防災センターで開催された第1回宍粟学講座において、「井上通泰の風土記研究—『播磨国風土記新考』宍粟郡条を読む—」と題した講演を行った。

(文責・井上舞)

地域連携センタースタッフによる日本学術振興会科学研究費補助金研究

- ・平成25年～27年度科学研究費助成事業・基盤研究(C)「歴史学と考古学による播磨国風土記の地方神話史料群の共同研究」(研究代表者・坂江渉)
- ・平成25～27年度科学研究費補助金・若手研究(C)「近現代日本社会運動における在野法曹の史的研究」(研究代表者・吉川圭太)
- ・平成26年～28年度科学研究費補助金・若手研究(B)「戦国大名分国およびその周辺地域における領域支配の研究」(研究代表者・村井良介)
- ・平成26年～28年度科学研究費補助金・若手研究(B)「郡県革命という視角による廃藩置県史像の再構成」(研究代表者・前田結城)

講演会・市民講座等

難波宮址を守る会

2015年4月11日、難波宮址を守る会の記念講演会(クレオ大阪中央)にて、「五世紀における倭王権と大阪湾岸」と題して講演をおこなった。

(文責・古市晃)

宍粟学講座での講演

風土記1300年 播磨学特別講座

2015年6月6日、播磨学研究所主催の「風土記1300年 播磨学特別講座」(イーグレ姫路 あいめっせホール)において「ヤマトとハリマー 風土記の政治学—」と題して講演をおこなった。

(文責・古市晃)

武藤邸学術サロンでの講演

2015年6月13日に、舞子公園旧武藤邸で開催された学術サロンにおいて、「井上通泰の『播磨国風土記』研究」と題した講演を行った。

(文責・井上舞)

「TAMBA シニアカレッジ」での講演活動

2015年8月7日(金)青垣住民センターで開催された「TAMBA シニアカレッジ」(主催・丹波市まちづくり部 生涯学習センター)において、「日本史のなかの丹波史」と題した講演をおこなった。

(文責・前田結城)

史跡シンポジウム 両宮山古墳とその時代

2015年8月22日、岡山県赤磐市教育委員会主催の「史跡シンポジウム 両宮山古墳とその時代」(赤磐市立中央公民館)において、「国家形成と吉備勢力—両宮山古墳の時代によせて—」と題する講演をおこなった。

(文責・古市晃)

あかし楽歴史講座での講演

2015年9月5日、アスピーア明石を会場に、平成27年度あかし楽歴史講座「新明石風土記」の一講座として、木村が「明石藩主松平家歴代の事蹟をめぐって—直明・斉宜を中心に—」と題する

講演を行った。

(文責・前田結城)

(文責・木村修二)

京都府京都文化博物館博学社連携フォーラムでの講演

2015年9月13日、京都府京都文化博物館において、文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」の支援を受けた、地域の歴史遺産とまちづくりに関する研究会が行われ、市澤哲が講師として、地域連携センターの取り組み事例を中心とした講演を行った。

(文責・市澤哲)

枚方市文化財連続講座

2015年11月2日、枚方市教育委員会・枚方市文化財研究調査会主催の「文化財連続講座(3)」(枚方市立メセナひらかた会館)において、「百済王氏と古代王権」と題して講演をおこなった。

(文責・古市晃)

氷上郷土史研究会での講演

2015年12月6日、丹波市氷上住民センターを会場に、氷上郷土史研究会の例会として、木村が「近世の稲継大橋について」と題する講演を行った。

(文責・木村修二)

赤穂市立図書館歴史と文学の講座

2015年12月12日、赤穂市立図書館主催の「歴史と文学の講座」(赤穂市立中央図書館)において、「聖徳太子の実像をめぐって」と題して講演をおこなった。

(文責・古市晃)

滋賀大学での講演および水損資料修復ワークショップの活動

2016年1月12日(火) 滋賀大学経済経営研究所において、「自然災害と地域資料」と題した講演および水損資料修復ワークショップをおこなった。

「いちようカレッジ」での講演活動

2016年1月22日(金) 大阪市立総合生涯学習センターで開催された「いちようカレッジ『聞き書き地域史コース』」(主催・大阪市立生涯学習センター企画推進課)において、「ひととまちの記憶を未来へ―地域歴史文化の担い手として―」と題した講演をおこなった。

(文責・前田結城)

東京文化財研究所研究会での報告

2016年1月29日、東京文化財研究所にて開催された「被災文化財等保全活動の記録に関する研究会」において、「震災資料としての活動記録」と題して報告した。

(文責・吉川圭太)

奈良学文化講座

2016年2月6日、第146回奈良学文化講座において(東京・よみうりホール)、「聖徳太子の実像」と題して講演をおこなった。

(文責・古市晃)